



市政同志会  
佐々木勝久 議員

バス利用促進

**問** 市民の利用促進を図るためにさまざまな取組やダイヤ改正を行ってきている中で、今年度からの新しいダイヤと路線で、利用者の状況や市民の声というものは、どういったものがあるのか。

土日祝日の減便や既存路線の運行時間帯の変更などについて、多くの苦情や御意見をいただいている。

**答** 4月の利用者数は1万2千人弱、前年度比25%減となっている。5月の利用者数は1万2千人強、前年比約24%減となっており、特に土日祝日の減便の影響が大きい。

今後は、幹線と各地区路線を併用した利用方法の周知などに努めるとともに、職員がバスに乗車し、利用者の御意見を伺いながら、利便性向上に向けて最大限の努力をしていく。

**問** 新しい運行に対する意見としては、アルプラザ鯖江敷地内への乗り入れや、道の駅西山公園へのバス停の新設などについて、よい評価は。

行在来線は第三セクター化される見込みだが、特急存続を実現するための直近の諸活動や、今後の取り組みの考え方は。

**問** 開業と同時に、並

行在来線は第三セクター

化される見込みだが、

特急存続を実現するた

めの直近の諸活動や、

今後の取り組みの考え

方は。

**答**市長 4月22日に山

本拓代議士がコーディネーターとなって国との意見交換会があったが、サンダーバードの存続は国や県はそんなに前向きではなかった。

地元選出の山本拓代議士を中心に、市議会と一体となって、鯖江市の区長会、商工会議所、経済界、関係団体の力を得ながら、これまで以上の運動展開を考えているので、福井駅からの大阪までのノンストップでの運行、ぜひとも存続できるように、敦賀の接続線が大事な問題になるので、継続して運行できるような体制づくりに、これから力を入れていきたい。

ごみの有料化について

**問** 今議会、市長所信

の中で、ごみ問題懇話会から提言された“ごみの有料化”について言及された。いうまでもなく、ごみ減量化は本市にとつて大変重要と理解しているが、“ごみの有料化”については、市民生活に大変密着し大きな影響を及ぼすものだ。有料化ありきではなく丁寧な慎重に進めるべきと考えるが、市の考えは。

分別収集体制の確立、段ボールコンポスト普及推進、食べきり運動の啓発、ステーションでの現地指導などを実施。こうした中、さらなるごみ減量化を図るため、今年3月、ごみ問題懇話会から、ごみ減量化・有料化について提言をいただいた。この中では、これまで行ってきた資源化、生ごみ減量化、堆肥化、事業系ごみ減量、環境教育をより一層推進するとともに、ごみ有料化についても呼応した施策と連動して実施すること、より一層の効果期待されるという内容であった。市としても、ごみ減量化を進める上で、この提言

のとおり、ごみ有料化は、ごみ減量の意識向上、資源化率向上、ごみ処理費の公平化という意義のもと有効な施策と考える。今後は、この提言書をもとに、まず市民の皆様にごみ減量化の必要性、また、そのための諸施策について丁寧に説明をさせていただきたい。そして市民から多くの意見をいただき、それを反映させることで、さらなる減量化を進めたい。

●そのほかの質問

○地方創生をめぐる現状認識

○第5次総合計画および行財政改革の総括

○企業の人手不足への対応

○中心市街地周辺の人

口減少への対応等



市政同志会  
帰山 明朗 議員